

みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2015
vol.212

毎月1日発行

1月号

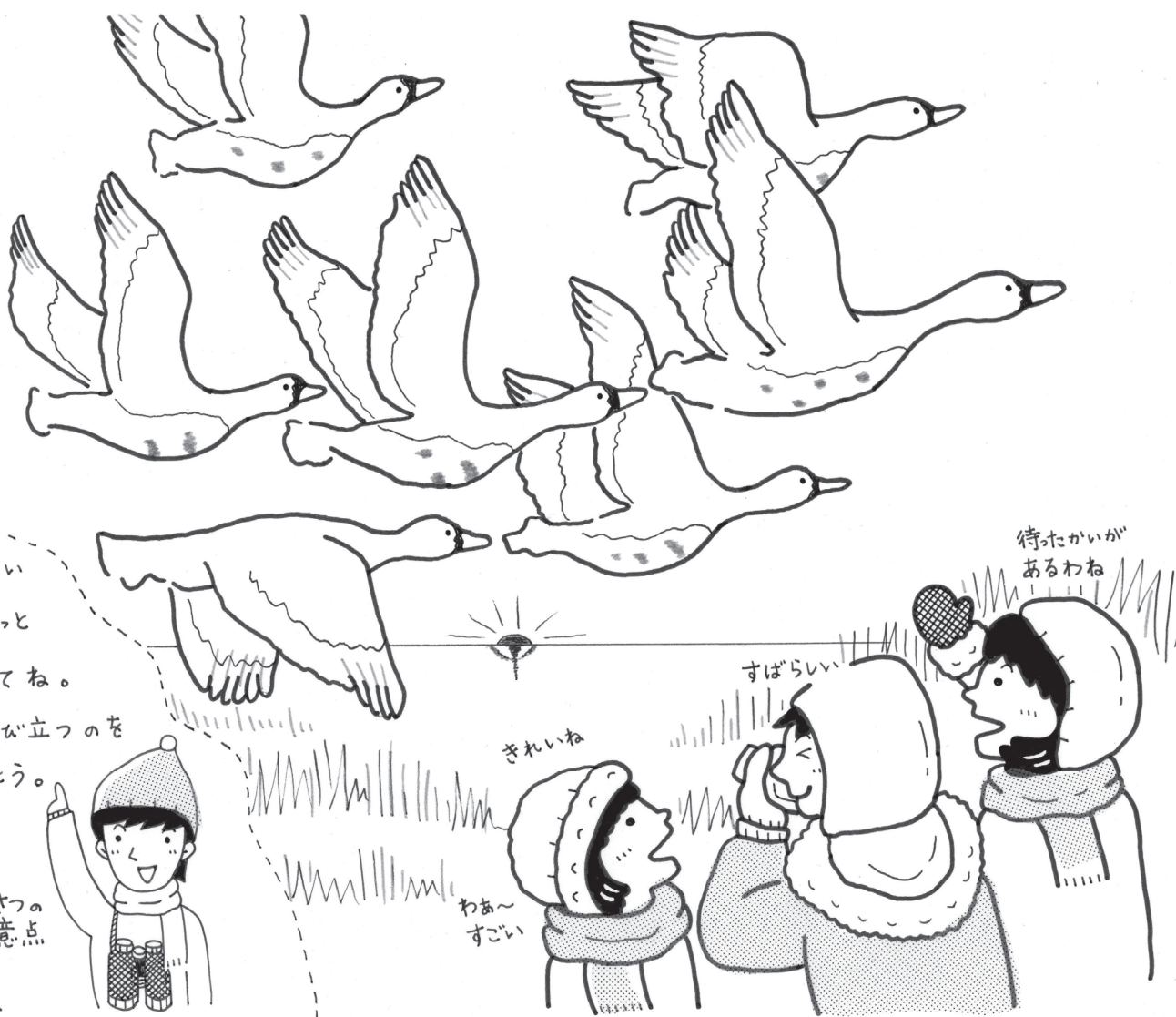
杜の伝言板 ゆるる 月刊

謹賀新年
2015

鳥を起こさない
ように、そーと
沼に近づいてね。
マガンが飛が立つのを
ジーーと待とう。

かんさつの
注意点

きのこ



特集

- 蕪栗沼ラムサール条約登録10周年
豊かな心は、豊かな自然とともに
(NPO法人蕪栗ぬまっこらぶ)
- 冬を迎える路上生活者支援
路上に暮らす声なき人びとの声を代弁するには
(NPO法人仙台夜まわりグループ、NPO法人萌友)

トピックス

国連防災世界会議
セカイと学ぼう。市民のための防災会議へ！
『市民防災世界会議』に参加しよう！

みやぎNPOプラザからのお知らせ

新入居団体紹介
未来を担う子どもたちのために
NPO法人KIDS NOW JAPAN

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



特集

燕栗沼

ラムサール条約登録十周年



豊かな心は、豊かな自然とともに

NPO法人燕栗ぬまっこくらぶ 副理事長 戸島潤さん

燕栗沼での活動もすでに二十
年、ラムサール条約に登録されて
から十年になるうとしている。十
一月には、登録十周年記念プレ
イベントが開催され、これまでの総
括がなされた。

そこで感じたのが、もう少し
「遊びごころ」があって良いので
はないか、という感覚である。原
因は、パタ崎さんである。パタ
崎さんは大崎市のイメージキャラ
クター、いわゆる「ゆるキャラ」で
燕栗沼（や化女沼）に飛来するマ
ガンをイメージしている。彼がい
ると、場の雰囲気はゆるくなる。
真面目な話ばかりしていると、
「それでいいの？」と、彼のうつ
るな目が訴えているような気がす
る。



▶大崎市のイメージキャラクター
「パタ崎さん」

◀宮城県警のキャラクター「みやぎくん」



たまに「すずめー」とか「カ
モ？」とか言われることがあつて
も、パタ崎さんは、雁という鳥の
知名度を上げるのに間違いなく大
きな貢献をした。驚くかもしれない
が、世界有数の雁の飛来地であ
る大崎市でも、雁を知らない人は
多い。隊列をつくって飛ぶ鳥を見
たことはあっても、それが雁だと
認識はしていないのだ。

これが仙台ともなると、事態は
もっと深刻である。かつて絶滅の
危機にあった雁の最後のすみかが
仙台市福田町であったことを知る
よしもないどころか、宮城県の県
の鳥が雁であることも知っていない
か怪しい。ここは宮城県警のキャ
ラクターである「みやぎくん」に
頑張ってもらえない。彼には、

自分が雁であることをもつとア
ピールしてもらいたい。

よくよく考えてみれば、ごく普
通の一般人が雁の姿を間近ではつ
きり見るのは滅多にないのだ。野
生生物である以上、人との距離が
あるのは当然のことである。遠い
と、顔がよく見えない。観察会に
参加して望遠鏡をのぞき、はじめ
てじっくり見た、という人も多い。
観察会で、バードウォッチング
の楽しさに目覚めてしまう人が結
構いる。望遠鏡を使うと、今まで
見えていなかったものが見える。
鳥たちの姿かたちが見えると、種
類によって色や形が違うのが、手
に取るように分かる。

それからは、ポケモンや妖怪
ウォッチと同じ世界である。図鑑
を片手に、見たことのない鳥を探
して、ホームページやツイッター
で情報を集めて、各地を訪ね回る
ことになるのだ。

蕪栗沼にも、毎年たくさんの
バードウォッチャーが集まる。大
いに楽しんで欲しい。だが、鳥や
近隣住民全員が歓迎しているわけ
ではない。地元で宿泊したり、買
い物したりして地域経済に貢献し
てくれると助かる。またバード
ウォッチングは、財布や家庭に優
しくない趣味である。高級双眼鏡

やカメラなどに手を出すと、マガ
ンの飛び立ちのようにお金が飛ん
でいく。くれぐれも度が過ぎない
ことだ。

日本に飛来する鳥は、じつに六
〇〇種類以上もいる。世界には約
一萬種の鳥がいるので約六%がい
ることになるが、日本の陸地面積
は世界の〇・二五%にすぎない。

日本は世界有数の野鳥王国であり、
数多くの研究者や保全団体が活動
している。にもかかわらず、一般
人の鳥の認識は「スズメ、カラス、
ハト」で止まったままなのだ。
これは高度成長期以後の自然保
護活動が、政府の過度の開発を止
めることに集中していたことが原
因である。

もうそろそろ、やり方
を変えてもいいのではな
いだろうか。

自然保護は、二十年前
は明らかにマイナリティ
の活動だった。人間社会
の中では、日陰者だった
のである。それが現在は、
メジャー街道一直線、メ
インストリートである。

あらゆる法律には環境保
全の必要性が項目に入り、
国や地方自治体は生物多
様性戦略を策定中で、教
育の指導要領には国連の
要請によって持続可能な
発展の概念が取り入れら
れている。自然保護は、
一部の変わった人たちが
やっていることではなく、
学校で教科書を使って全
ての子どもたちが勉強す
ることになっているのだ。

啓発の方法にしても、真面目で
悲壮感たっぷりのお堅いものでは
なく、楽しみながら学び、子ども
たちの心が豊かになっていくもの
が望まれていると思う。でなけれ
ば、利便性最優先、経済最優先の
世の中に自然は残っていかない
と思う。

というわけで、蕪栗沼でも、今
後はもっと余裕のある活動をした
いのだが、お金がない。蕪栗ぬ
まっこくらぶでは、年間一〇〇時
間以上、小学校に講師を派遣して
授業の支援を行っているが、ほぼ
全て無償である。評判が良くて、
やればやるほど希望する学校が増
えるので、貧乏になる一方だ。

実は、蕪栗ぬまっこくらぶの職
員は、彼らが小学
生のときに、私が
環境教育を施した
教え子なのである。
地元の子が、ふる
さとの自然を守り
たいと思う、それ
が当たり前の世の
中になって欲しい。
会員になって金銭
的なサポートをす
ること、こうし
た若い芽を育てて
欲しいのである。

NPO法人蕪栗ぬまっこくらぶ

〒989-4301 大崎市田尻蕪栗字沢田23-2
TEL: 0229-38-1401
URL: <http://www5.famille.ne.jp/~kabukuri/>



▶ 蕪栗沼のマガンが一斉に飛び立つ様子

特集

冬を迎える路上生活者支援

路上に暮らす声なき人びとの声を代弁するには

しんしんと雪が振り続けた十二月十七日の夜、路上生活者支援団体であるNPO法人萌友は夜まわりを行いました。まわった地区は、

せんだいメディアテーク、勾当台公園、西公園、川内追廻、国際センター、大橋、東二番丁地下連絡通路、仙台駅周辺。それぞれの地区

周辺に住む路上生活者の安否を確認するとともに、おにぎり、米一升、カップラーメン、ガスボンベ、カイロを渡し、暖かい味噌汁を配りました。

支援を

受ける路上生活者
の人びとは、味噌汁を美味しくそうに
平らげ、萌友のスタッフと
親しげに



▶青葉区本町の元寺小路教会内で夜まわりの準備をする萌友のメンバー

会話を交わし、そして三々五々それぞれの生活の場へと戻って行きました。

一般社会の枠組みからはじき出され、邪魔者扱いされ、あたかも彼らが存在しないかのように扱われる路上生活者たち。

本格的に冬を迎えるにあたって、そんな彼らへの支援が続けている仙台市内の二団体、NPO法人仙台夜まわりグループ、NPO法人萌友から支援の現状を聞きました。

■仙台で増える路上生活者■

東日本大震災以前、減少傾向にあった仙台市内の路上生活者数は、震災後増加傾向を示しています。厚生労働省が実施した『ホームレスの実態に関する全国調査（概数調査）』によると、仙台市内の路上生活者の実数は、二〇一四年一月時点で一一九名。全国の数字が減少傾向にあることを考えると、

仙台市の特殊性がわかります。

この厚生労働省の概数調査には二十四時間営業の店舗（ネットカフェなど）で夜を過ごしている人、車上生活をしている人は含まれていません。このことから仙台夜まわりグループ事務局長の青木淳子さんは、「現在進行形で支援している側からすると、一一九名から増加していることはあっても、減少していることはないだろうと実感しています」と話しています。

また、萌友理事長の芳賀ヒロ子さんの場合はこのように話します。「概数調査が毎年一月という寒い時期に行われているのも問題。過ぎやすい気候の時期に調査すれば数字はもっと増えるはずです」。なぜ仙台では路上生活者が増えているのでしょうか。

青木さんは震災前の仙台市内の路上生活者の特徴を「東北出身で、若い頃、大都市で働き続け、歳をとって東北に戻ってくる六十代の

男性が主でした」と分析。

震災以降の仙台では、全国各地を出身とする路上生活者が増えました。彼らの多くは、もともと震災復興関連の仕事を求めて集まった日雇い労働者たちです。結局仕事が見つからなかったり、貧困ビジネスや不法な雇用など劣悪な労働環境から抜け出したりした挙句、仙台市内で路上生活に至るケースが多い、と青木さんは話しています。

芳賀さんは震災によるコミュニティ、生活環境の変化が新たな路上生活者を生み出していることを指摘しています。「ある知的障がいを持つ方の場合、震災前は年金暮らしの親とともに自宅で生活することができていました。しかし、津波で家を流され仮設住宅に移ると親も彼を養い続ける余裕がなくなってしまう、口減らし同様にならざるを得ない状況です」。

ほかにも、もともと周囲とうまくコミュニケーションが取れなかった人が仮設住宅のコミュニティに馴染めず、出奔してしまうこともあります。

■冬を迎えるにあたって■

冬は路上生活者にとって、もつとも過酷な季節です。他の季節とは異なり、外で一晩を過ごすことがそのまま死に直結しかねません。路上生活者の中には、凍死することがないよう、夜通し歩き回っている人もいます。そのような人びとは日中、図書館などの公共施設の中で睡眠を取るのです。

統計的には仙台市内に一〇〇名を超える路上生活者が存在するはずなのですが、今のところ路上生活者のための公共のシェルターは設けられていません。そこで支援団体は冬の時期、いつも以上に支援体制を強化します。

仙台夜まわりグループでは、路上での凍死者、餓死者が出ないよう、十一月〜三月は越冬支援体制を組み、年末年始には定例の支援活動のほかにも夜まわり、相談会、電話相談を実施しています。

萌友の芳賀さんは冬を迎える路上生活者支援で必要なことをこう答えています。「食料、衣類、毛布、寝袋、薬、その他生活必需品など、必要と思われるものは全て提供しています」。

■支援の輪を広げるために■

現状、路上生活者への公的支援は無いに等しく、仙台夜まわりグループや萌友などのNPOが彼らの生活、命を支えています。

ただし路上生活者支援は収入に結びつきにくく、出費がかさむ事業です。現に仙台夜まわりグループ、萌友ともに、団体の収益の大半は第二種社会福祉事業である無料低額宿泊所(※)の運営が占めており、夜まわりや炊き出し、相談や就労支援など諸々の活動は事業単独で見れば赤字です。それでも活動を続けることができているのは、寄付金や助成金など市民や民間企業、財団からの財政的な支援があるからです。

「仙台夜まわりグループの支援活動は十五回目の冬を迎えました。これも多くの方々の暖かいご協力によるもの。ボランティア参加、支援物資の寄付、カンパなどの支援を頂いてきた



暖かい場所でゆつくりと過ごせる場として、仙台夜まわりグループが主催している「ゆつくり過ごす会」

※社会福祉法に基づき、生計困難者のために無料または低額な料金で貸し出される簡易住宅

から続けられてきました。心から感謝しています」と青木さん。

仙台夜まわりグループでは「できる人ができる時にできる事を」をモットーとしており、誰にでもできるささいな協力を歓迎しています。

財政面のみならず、支援の担い手不足も大きな課題です。萌友の場合、事業規模がそれほど大きくはなく、動けるスタッフの数も限られています。とくに団体内の高齢化が進んでおり、芳賀さんを含む三人の中心メンバーは六十代から七十代ばかり。

「この年で夜まわりをするのは正直堪えますよ」と冗談交じりに話す芳賀さんですが、さらにこう続けました。「でも寒い中、路上で寝ている人たちのことを考えるといてもたってもいられなくなるんです。彼らの多くは窮状を訴えたくても訴えない、訴えられない。だから私たちは彼らの声を代弁するために伴走を続けなくては」。

支援団体は、路上で生活している人びとに対し、いつかは自立し社会に復帰してもらいたいと願っています。しかし彼らが社会に復帰するためには彼ら自身の努力もさることながら、社会の側にも彼

らを受け入れる努力が必要です。「彼らは望んで路上生活をするようになっただけではない。彼らをはじき出してしまったのは社会の方です」とは芳賀さんの言葉。

まずは、宮城県、仙台市にも路上生活を送る人びとが私たちと同じように暮らしていること、そして彼らを支援し続けている支援団体があることを認識し、ボランティアでも寄付でも少しずつできることから、支援の輪に加わってみてください。

(取材・執筆 庄司真希、大西直樹)

NPO法人仙台夜まわりグループ

2000年1月設立。夜まわり、炊き出しを中心に路上生活者に対しての幅広い支援活動を行っている。2013年には生活困窮者総合相談支援センター「HELP!みやぎ生活困窮者ほっとライン」を開設し、相談事業にも力を入れている。

〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-10-12
TEL : 022-783-3123 URL : <http://www.yomawari.net/>

NPO法人萌友

2003年12月設立。市内2棟のアパートを路上生活者の住居として提供する傍ら、夜まわり、炊き出しなどを実施。支援対象者にはアディクションや障がいを抱え、社会復帰に時間を要する人びとが多い。社会啓発のため『ほうゆうだより』を年4回発行している。

〒981-0941 仙台市青葉区菊田町1-33 コーポフレンド101
TEL : 022-719-9117

セカイと学ぼう。市民のための防災会議へ！ 『市民防災世界会議』に参加しよう！

2015防災世界会議日本CSOネットワーク事務局
ピースボート災害ボランティアセンター理事 合田茂広さん



●なぜ日本で開催するの？

一月に入ると、仙台市内で「第三回国連防災世界会議」の装飾を見る機会が増えるでしょう。いよいよ三月の本番に向けたカウントダウンです。ところで、この国連防災世界会議、過去二回も日本で行われていきます。なぜ、毎回日本で開催するのでしょうか？

もちろん、日本政府や仙台市が立候補したから、という答えも正解です。ただ大事なものは、その日本開催を後押ししてきた世界の人たちの日本に対する期待です。日本は古くから、地震や津波、水害や雪害、火山の噴火など多くの自然災害に見舞われてきました。また、工場の火災や化学物質の流出、原発事故といった産業災害もあります。ただ、その度に国や自治体、学校や会社、地域や市民団体のそれぞれが自分で考え、実践し、次に備えるという活動を繰り返してきました。

これだけ多種多様な災害と向き合ってきた国はそう多くはありません。世界の人たちは、「災害大国」であり「防災大国」である日本の経験から学びたいと考えているのです。

●災害時の「自助」「共助」は、市民力で！

日本の防災では、「自助」「共助」「公助」の三つの力が大切だとされています。「公助」は制度やインフラなど、主に行政が担う分野です。自分や家族の身を守る「自助」、地域やボランティアで助け合う「共助」は、市民が主役の分野です。国連という組織は、国・行政の集まりです。「世界公助会議」なら各国の代表や研究者に任せておけばいいでしょう。けれど、「世界防災会議」には、「自助」「共助」の当事者である市民が参加しなければ実りのある会議になりません。

阪神・淡路大震災は「ボランティア元年」と呼ばれ、被災地の現場で多くの市民が汗を流しました。しかしながら、十年後の二〇〇五年に兵庫・神戸で行われた「第二回国連防災世界会議」は、各国代表と研究者が中心の会議で、市民参加が積極的ではありませんでした。この反省から、東北で支援活動を行った日本の約一〇〇の団体が集まる「2015防災世界会議日本CSOネットワーク（JCC2015）」が生まれました。

●市民のための防災世界会議へ

「市民防災世界会議」は、「市民協働と防災テーマ館」となる仙台市民活動サポートセンターの特別企画で、またJCC2015が企画・運営します。文字通り、各国の市民同士による学び合いが目的。東北の経験を発信する企画、海外の事例を学ぶ企画、気候変動や貧困といった地球規模の課題とのつながりを考える企画など、三日間で九つのセッションを行い、最終四日目は東北の伝統芸能パフォーマンスや国際シンポジウムを交えたメイニンイベントを行います。将来の防災の枠組みを決める「第三回国連防災世界会議」において、「市民力」の役割をきちんと位置づけるための大きなイベントです。ぜひ、皆さんご参加ください。



2015防災世界会議
日本CSOネットワーク
Japan CSO Coalition for 2015 WCDRR

市民防災世界会議

The Global Conference on DRR for Civil Society

2015.3.14 - 3.17

仙台市市民活動サポートセンター、
東京エレクトロンホール宮城（宮城県民会館）

参加費無料

2015年1月
より受付開始



UN World Conference on
Disaster Risk Reduction
2015 Sendai Japan



「市民防災世界会議」プログラム予定

市民活動サポートセンター

B

3.14

シンポジウム

オープニングセッション

2015年 開発・環境・防災が会う年

防災・減災をシフトする ～気候変動と社会の変化～

3.15

シンポジウム

世界と日本の語り部に学ぶ“復興”

日本の災害復興① 神戸、中越、東日本（仮）

日本の災害復興② 東北復興・防災まちづくり会議

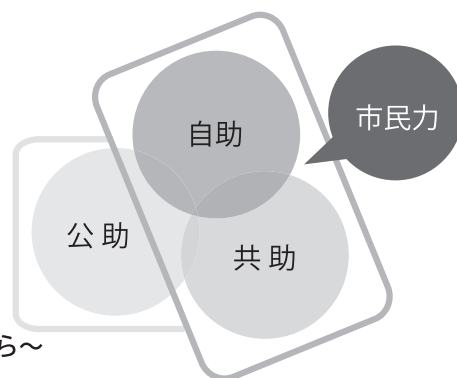
3.16

ダイアログ

コミュニティレジリエンス ～東日本および各国の事例から～

地域力を支えるコーディネーション

多様性と災害対応 ～障害者・LGBT・ジェンダー・外国人の視点から～



宮城県民会館

A

FINAL!
3.17

メインイベント

東北伝統芸能、合唱などのパフォーマンス

国際ゲスト対談「ポスト兵庫行動枠組とこれからの市民防災」

メインシンポ「ボランティア元年から20年～地域と人がつくるレジリエンス」

東北被災地・若者たちのスピーチ、市民防災世界宣言（仮）発表



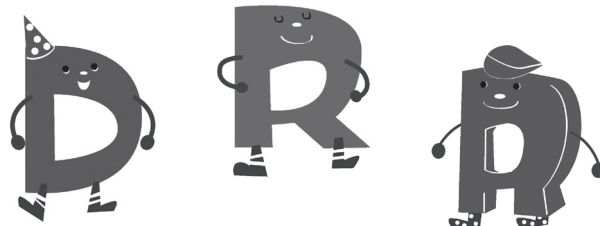
「ピープルズ・パビリオン」

WiFi

世界や防災に触れる屋外展示が行われる仙台市勾当台公園・市民広場では、海外からの会議参加者と日本の市民が交流し、自由に話し合うための多目的テントを設置します。会議のインフォメーションはもちろん、シェアオフィスやセミナー、ゲストとの対話セッション会場など、市民向けのフリースペースです。また、会議期間中には、いくつかの東北沿岸部や福島への市民向けオリジナル・スタディーツアーも行う予定です。

「市民協働と防災／女性と防災テーマ館」

「第3回国連防災世界会議」では、「市民防災世界会議」のほか、複数の施設や東北各地で一般公開の展示やセミナー・シンポジウムが多数行われます。期間中オープンする「市民協働と防災／女性と防災」のふたつのテーマ館も見どころです。



未来を担う子どもたちのために ～NPO法人KIDS NOW JAPAN～

NPO法人KIDS NOW JAPANが、十二月からみやぎNPOプラザ(以下、プラザ)の事務ブースに入居しました。

団体の活動のきっかけは、代表理事の長山宏哲(あつのり)さんが東日本大震災直後に奥様と二人で始めた復興支援活動です。

最初は、被災した仙台市七郷地区を中心に家屋の泥かき作業から活動をスタートしました。古くからの友人や知人の繋がりから、一緒に活動する人が増え、泥かき作業に延べ二〇〇〇人が集まりました。食事・物資の支援にも着手し、被災者支援活動を中心とした活動が本格的に始まりました。

子供たちの未来に向けたスタート

復興支援活動に精力的に携わっていくうちに「これからの未来を担う子どもたちにとって、夢のある安心・安全なまちづくりを目指さなければならない」と、スタッフの皆さんは強く思うようになりました。そこで、被災者支援はもちろん、「海洋環境の保全活動」「学校防災」「防潮林の植樹植林活動」の四つをKIDS NOW

JAPANの活動の中心に掲げています。

海洋環境保全活動では、震災によって海外に流れ着いた瓦礫を掃除し、漂流物を調査しています。漂流物のボールに書かれた文字を手掛かりに、発見から二年後、持ち主の元へ返すことができました。

学校防災では、文科省が推進している「学社融合」の趣旨に沿い、学校と地域の連携に重点を置いた防災教育を行っています。

防潮林の植樹植林活動では、ドングリの実を育て、成長した苗を被災地の海岸線に植樹しています。これらの木は根が垂直に伸びるため津波に強く、今後起こりう



▶二〇一四年十月十二日皇居どんぐり苗
植樹会の様子

る災害に備えた活動です。この活動が認められ、皇居のドングリを御下賜され、苗を育て、震災後に避難所として利用した施設の中庭に復興の記念として植樹しました。

終わりのなきゴールへの道へ

プラザへの入居のきっかけは、プラザが行っている専門相談でした。団体運営に関するアドバイスを受けた際に、入居団体を募集するチラシが目にとまったそうです。

KIDS NOW JAPANのみなさんは復興支援活動を中心に無我夢中で走り続けてきました。長山さんは、団体運営をマラソンにたとえ、「事務ブースへの入居は、今後より長く走り続けるためのトレーニング期間」と話しています。

KIDS NOW JAPANはまだ見ぬゴールへとあらためて走り出したかのようです。プラザの情報や講座を積極的に活用し、他の団体との交流を図ってほしいものです。

プラザのNPO講座・相談

お申込みはコチラから

NPO夜学 第5回「一緒に活動する仲間を見つける」	1/28(水)	19:00～21:00
NPOのための融資セミナー	2/13(金)	14:00～16:00
コミュニティ・ビジネス相談	1/30(金)	13:00～17:00
融資なんでも相談	2/19(木)	13:00～17:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者: 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>



助成金情報

※詳細については、それぞれのホームページ等の要項をご確認ください。

東日本大震災 現地NPO応援基金(特定助成) 「しんきんの絆」復興応援プロジェクト第1回助成

TEL : 022-275-3796 FAX : 022-272-5063
E-mail : mail@mia-miyagi.jp

- 助成対象 : ・日常生活の再建事業
・地域コミュニティ・文化の再生事業
- 対象団体 : ・岩手県、宮城県、福島県(以下3県)のいずれかに活動拠点を置いている、民間の非営利組織であること(法人格の有無・種類は問わない)
・申請時に原則1年以上、3県のいずれかで活動実績があること
・3県のいずれかで被災住民の生活再建支援、地域コミュニティ・文化の再生に取り組んでいること
- 助成金額 : Aコース : 100万円以上～300万円未満
Bコース : 300万円以上～500万円以内
※申請する内容に応じて選択し応募
- 応募締切 : 1月19日(月)必着
- 問い合わせ : 認定NPO法人日本NPOセンター内
「しんきんの絆」復興応援プロジェクト事務局
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル245
TEL : 03-3510-0855(月～金9時半～18時半)
FAX : 03-3510-0856
E-mail : shinkin-npo-ouen@jnpoc.ne.jp

第23回「住まいとコミュニティづくり活動助成」

- 助成対象 : 「住まいとコミュニティづくり」に関わる以下のような分野
A.社会のニーズに対応した住まいづくり
B.住環境の保全・向上
C.地域コミュニティの創造・活性化
D.安全で安心して暮らせる地域の実現
E.その他(豊かな環境の実現につながる活動)
- 対象団体 : 営利を目的としない民間団体(NPO法人、法人化されていない任意の団体など)
- 助成金額 : 1件あたり上限100万円(テーマ助成は上限200万円)
- 応募締切 : 1月20日(火)必着
- 連絡先 : 一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団(助成係)
〒105-0011 東京都港区芝公園2-11-17 朝井ビル4階
TEL : 03-6809-1408(土日祝日を除く9時半～15時半)
FAX : 03-6809-1438
URL : <http://www.hc-zaidan.or.jp/>

公益財団法人未来の東北博覧会記念 国際交流基金助成

- 助成対象 : 民間の国際交流団体などが行う国際交流・協力事業、多文化共生推進事業
- 対象団体 : 宮城県内に主たる事務所を有する非営利団体。団体の構成員の半数以上が県内に住所を有し、活動するもの
- 助成金額 : 1件あたり上限100万円
- 応募締切 : 2月10日(火)必着
(平成27年4月から6月末日までに開始する事業)
- 連絡先 : 公益財団法人未来の東北博覧会記念国際交流基金
〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17
宮城県仙台合同庁舎7階((公財)宮城県国際化協会内)

アウトドア自然保護基金プログラム

- 助成対象 : 絶滅の危機にある動植物の保護や、アウトドアフィールドとなる自然環境の保全保護活動
- 対象団体 : 自然環境保護活動を実践している団体
※法人格の有無は問わない
- 助成金額 : 10万円～50万円
- 応募締切 : 2月15日(日)必着(年4回の募集)
- 連絡先 : コンサベーション・アライアンス・ジャパン事務局
アウトドア自然保護基金プログラム係
〒150-0002 東京都渋谷区3-2-13
高橋ビル201 (株)ヨンロク二内
TEL/FAX : 03-3797-0539
URL : <http://ca-j.org>

第16回社会貢献基金助成

- 助成対象 : 研究助成事業、高齢者福祉事業、障害者福祉事業、児童福祉事業、環境・文化財保全事業、国際協力・交流事業
- 対象団体 : 非営利組織(財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、その他任意団体、市民ボランティアグループ)または、大学、研究機関で、今回募集する助成事業に合致する事業を行おうとしている団体等
- 助成金額 : 1件あたり上限200万円
- 応募締切 : 2月28日(土)必着
- 連絡先 : 一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会
社会貢献基金 運営事務局
〒105-0004 東京都港区新橋1-18-16
日本生命新橋ビル9階
TEL : 03-3596-0061

「連合・愛のキャンパ」中央助成

- 助成対象 : ・大規模災害などの救援・支援活動
・戦争や紛争による難民救済などの活動
・人権救済活動
・地球環境保全活動
・ハンディキャップをもった人たちの活動
・教育・文化などの子どもの健全育成活動
・医療や福祉活動
・地域コミュニティ活動(レクリエーション活動を除く)
・生活困窮者 自立支援活動
- 対象団体 : 海外や国内で救援・支援活動に取り組んでいるNGO・NPO団体等の具体的事業プログラムとし、構成組織の推薦がある非営利団体(構成組織については、下記URL参照)
- 助成金額 : 初回助成金額は50万円を目安とします
- 応募期間 : 1月1日(木)～3月31日(火)必着
- 連絡先 : 連合・愛のキャンパ「中央助成」係(担当:若月)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11
TEL : 03-5295-0513 FAX : 03-5295-0547
URL : <http://www.jtuc-rengo.or.jp/info/boshuu/2015campa/chuo.html>

NPOのための税務・労務講座

人を雇い入れるにあたって必要となる最低限の労務管理の知識や手続きをご存じですか?法人が支払うべき税金についてはいかがでしょうか?今回は、NPO法人が特に苦手としている税務・労務に関する1日型セミナーを県内7か所で開催!税務、労務どちらかのみのご参加も歓迎です!

労務管理講座 10:00~12:00

【講師】藤永 弘子さん
(社会保険労務士・キャリアカウンセラー)

税務講座 13:00~16:00

【講師】●栗原・大崎・登米:笹館 公男さん(税理士)
●石巻:高橋 秀一さん(税理士)
●大河原・気仙沼・仙台:平野 由紀子さん(税理士)

1月20日(火) 栗原

@栗原市民活動支援センター
多目的ホール
(栗原市築館伊豆2-6-1)

1月22日(木) 石巻

@みやぎ生協文化会館
アイトピアホール ホールA
(石巻市中央2-7-3)

1月27日(火) 大河原

@大河原中央公民館
第2会議室
(柴田郡大河原町字町196)

1月29日(木) 大崎

@大崎市市民活動
サポートセンター 大会議室
(大崎市古川駅前大通1-5-18)

1月30日(金) 気仙沼

@気仙沼中央公民館
会議室1、2
(気仙沼市魚市場前1-1)

2月12日(木) 登米

@登米市迫公民館
視聴覚室
(登米市迫町佐沼字中江2-6-1)

仙台会場の
日程が2/10(火)から
変更になりました!

2月26日(木) 仙台

@宮城県婦人会館
第1研修室
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)

NPO法人会計基準講座

NPOのための「会計基準」を学びませんか。わかりやすい会計報告により、対外的な信頼・支援を受けやすくなります。入門編では、その概要を学び、実践編では実際に財務諸表を記入するワークショップを行います。決算書作成のコツをつかみましょう!

NPO法人会計基準講座【入門編】 10:00~12:00

NPO法人会計基準講座【実践編】 13:00~16:00

【講師】●仙台、大河原、登米、石巻、大崎、栗原:成田 由加里さん(税理士・公認会計士)
●気仙沼:中村 元彦さん(税理士・公認会計士)

1月14日(水) 仙台

@みやぎNPOプラザ
第2会議室
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)

2月9日(月) 大河原

@宮城県大河原合同庁舎
別館 第1会議室
(柴田郡大河原町字南129-1)

2月10日(火) 登米

@登米市迫公民館
視聴覚室
(登米市迫町佐沼字中江2-6-1)

2月16日(月) 石巻

@みやぎ生協文化会館
アイトピアホール ホールA
(石巻市中央2-7-3)

2月18日(水) 大崎

@大崎市市民活動
サポートセンター 大会議室
(大崎市古川駅前大通1-5-18)

2月23日(月) 気仙沼

@気仙沼中央公民館
会議室1、2
(気仙沼市魚市場前1-1)

2月25日(水) 栗原

@栗原市民活動支援センター
多目的ホール
(栗原市築館伊豆2-6-1)

共通事項

定 員 各30名

対 象 県内のNPO法人及びNPO法人の設立を検討している団体、個人等

申込方法 希望する講座、氏名、団体名、連絡先をご記入のうえ、杜の伝言板ゆるるまで
FAX、E-mail、郵便でお申込みください。下記URLからもお申込が可能です。
【税務・労務】<http://goo.gl/jFRtkb> 【会計基準】<http://goo.gl/LjqPn5>

主 催 宮城県

企画・実施 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる

個別訪問 サポート

会計・税務、労務管理の専門家が訪問し、あなたの団体の課題・問題に対して助言・指導を行います!こちらは上記税務・労務講座、NPO法人会計基準講座の受講団体のみの限定サービスです。訪問サポートをご希望の場合は、上記講座にご参加ください!個別訪問サポートについてのお問合せは、杜の伝言板ゆるるまで。

参加費
無料

【税務・労務】



【会計基準】



※スマートフォンをお使いの方は、
こちらのバーコードをご利用ください。

好、宮城県森林インストラクター協会の協力の下、宮城県教育委員会や仙台市教育委員会等の後援を得て行うシンポジウムに、先生方や保護者の皆さまのご参加お待ちしております。

- 日 時：1月24日(土)12:45～17:00(12:20～受付)
- 場 所：仙台市情報・産業プラザ
ネ！ットU 多目的ホール・展示スペース
(仙台市青葉区中央1-3-1 AER5階)
- ゲ ス ト：阿部 治氏(日本環境教育学会会長、立教大学教授)
- 内 容：子どもたちによる学校の森取組み発表
3つのテーマでの分科会(テーマは下記URLからご確認下さい)
子どもたち向け木工教室(分科会と同時開催)
- 定 員：300名
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
申込み時、氏名(ふりがな)、所属先、参加を希望する分科会の番号をお知らせ下さい
- 主 催：公益財団法人ニッセイ緑の財団
- 連 絡 先：担当：高橋
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-21-17
虎ノ門NNビル8階
TEL：03-3501-9203 FAX：03-3501-5713
E-mail：info@nissay-midori.jp
URL：http://www.nissay-midori.jp/news/?newsid=20141117-142738

1/24 パワーポイントでもできる 印刷物デザイン講座

ワードより高い自由度がある、パワーポイントを使ってよりグレードの高いデザインを！市民の情報発信に必要なデザイン・レイアウトの基礎を学ぶと共に、PCを使用し、パワーポイントによる「目を引く印刷物デザイン」を実際に作りながらデザインに必要なパワーポイントのテクニックを学びます。

- 日 時：1月24日(土)13:30～16:30
- 場 所：せんだいメディアテーク 7階会議室b
(仙台市青葉区春日町2-1)
- 定 員：10名(事前申込み受付順)
- 参 加 費：2,000円(当日会場にてお支払いください)
※PC貸出有(貸出料500円、台数に限りあり)
- 講 師：真山 正太氏(グラフィックデザイナー)
千葉 浩二氏(ITメディアオペレーター)
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
URLリンク先からも申込可能
- 主 催：一般社団法人メディアデザイン
- 連 絡 先：担当：千葉
TEL：090-3049-0613 FAX：022-224-5308
E-mail：kouza@mediadesign.jp
URL：http://mediadesign.jp/article-4771/

1/27 障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを 考えるワークショップ「ココロン・カフェ」

仙台市では、「共生社会」の実現のために、障害を理由とする差別の解消を推進するための条例の制定について検討しています。条例の検討にあたり、障害の有無にかかわらず、市民の皆さんと一緒に理解を深め、意見交換を行う場として、ワークショップを開催します。

- 日 時：1月27日(火)10:00～12:00
- 場 所：仙台市福祉プラザ1階 プラザホール
(仙台市青葉区五橋2-12-2)※公共交通機関でお越しください。
- 内 容：開催趣旨説明、ワークショップ
- 申込方法：下記連絡先まで、TEL、FAX、E-mailにて申込み
※手話・要約筆記・託児(未就学児)が必要な方は、1月13日(火)まで申込み
- 申込締切：1月20日(火)
- 主 催：仙台市
- 連 絡 先：仙台市健康福祉局健康福祉部 障害企画課企画係
TEL：022-214-8163 FAX：022-223-3573
E-mail：fuk005330@city.sendai.jp

1/30 「居場所づくりを知る」講座・情報交換会 ～誰でも気軽につくれる「まちの居場所」～

誰かと繋がって、いきいきと過ごしたい！何か役に立つことしたいけど、何ができるかなあ…。「あったらいいな」の居場所づくりを実践しているゲストもお呼びします。まずは知ることから始めませんか？

- 日 時：1月30日(金)13:30～16:30
- 場 所：名取市市民活動支援センター会議室(名取市大手町5-6-1)
- 講 師：大久保 朝江氏(NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
- ゲ ス ト：小岩 孝子氏(NPO法人FOR YOUにこにこの家)
名取近隣のボランティアグループのみなさん(予定)
- 内 容：13:30～居場所づくりを知る講座
15:40～あれこれ情報交換会
- 対 象：名取市で市民活動をはじめたい方、町内会やまちづくりのメンバー、NPOやボランティア活動に興味のある方
- 定 員：15名
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先まで、お問合せください
- 主 催：名取市
- 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先：名取市市民活動支援センター
TEL：022-382-0829
E-mail：npo@natori-npocenter.or.jp

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です！**
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
- ※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6

TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327

e-mail:npo@yururu.com

編集後記

今年は未(ひつじ)年。「未」の干支の特徴は「穏やかで人情に厚い」とされているとか。これまでいろいろなこと挑戦的に取り組んできたけど、干支にちなんで穏やかに過ごす1年としたい。そして水中ウォーキングで健康づくりも。できるかな……。 (大久保)

今年もNPOで高校生の夏ボラ体験でご協力いただいたNPO法人アマニ・ヤ・アフリカさん。12月初旬、アマニさんがサポートしているケニアのマゴソスクールで火災が発生したため、現在募金活動中です。一刻も早く、多くの笑顔に戻ることを願っています。(村上)

1/21 MIA日本語サポータービギナー研修会 日本語ボランティアの「いろは」を 一緒に学びませんか？

MIA日本語サポーター制度は、日本語を学習したい宮城県内に住む外国人にマンツーマンで日本語を教えるボランティア登録・紹介を行っています。新規サポーター登録者を随時募集しています。

- 日 時：1月21日(水) 13:00～16:00
- 場 所：宮城県国際化協会 交流ラウンジ
(仙台市青葉区堤通雨宮町4-17 宮城県仙台合同庁舎7階)
- 講 師：鈴木 英子氏(MIA日本語講座スーパーバイザー)
- 内 容：地域の国際化と日本語ボランティア活動について
外国語としての日本語・やさしい日本語について
日本語の学習教材の紹介など
- 定 員：20名(先着順)
※参加は、MIA日本語サポーター登録者に限ります
未登録者で参加を希望する場合は、事前の登録が必要
- 申込方法：下記連絡先に問合せのうえ、申込み
- 主 催：公益財団法人宮城県国際化協会
- 連絡先：仙台市青葉区堤通雨宮町4-17
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL：022-275-3796
E-mail：mail@mia-miyagi.jp
URL：http://mia-miyagi.jp

1/22 簡単ホームページ作成講座 ～NPO・市民活動・自治会 サークル活動向けの講座～

ホームページ作成の経験がない、費用も時間もないとお考えの方に朗報です。最新のサービス(Jimdo)を利用すれば、簡単にしかもほとんど費用をかけないで、スマホにも対応したホームページをつくることができます。

- 日 時：1月22日(木) 10:00～16:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ Paso Café
- 対 象：パソコンの基本操作ができる人、個人・団体関係者を問いません
- 定 員：4名(先着順)
- 参加費：3,500円
- 持ち物：◆実習で使うパソコン(Windows7)を用意しますが、Wi-Fi対応のパソコンがあれば持込み可能
◆受講される方は、実習で作成するホームページの掲載記事をご準備ください
◆団体紹介やお知らせなどの原稿と、活動の様子などを撮った写真数枚をUSBメモリー又はパソコンに入れて持参してください

- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
下記URLリンク先の申込みフォームからも申込可能
- 申込締切：1月17日(土)
- 主 催：NPO法人イー・エルダー東北支部
- 連絡先：TEL/FAX：022-796-8091
E-mail：tohoku@e-elder.jp
URL：http://e-eldertohoku.jimdo.com/

1/24 週末交流プログラム番外編 ～週末に防災を考える～

震災発生時に避難場所となっていた場所や仮設のお風呂等が設置されていた場所を巡り、災害時どのような環境で生活することになるのかを知る「街歩き」を実施します。私たちが新たに製作した「わが家の災害対応ワークブック」を活用して、発災時の困難や疑問をどう解決していくのかを考えませんか？

- 日 時：1月24日(土) 12:50集合(16:00解散)
- 内 容：避難所だった場所や炊き出しが行われていた場所等を訪問、「わが家の災害対応ワークショップ」受講
- 準備物：・お住まいの地域の避難所・避難場所が掲載されている地図
・現金(各自の食事等のため)
・リュックサック
・筆記用具
・雨天時の準備物(雨合羽など両手があくもの)
- 定 員：20名
※未成年の場合は、保護者合意の上、所定の「未成年合意書」の書類提出必須
- 参加費：500円
- 申込方法：下記連絡先まで、氏名、連絡先(TEL、住所、E-mail)、性別をご記入の上、ご連絡ください。
下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
URLリンク先からも申込可能
- 主 催：ピースポートセンターいしのまき
- 連絡先：担当：奥村
TEL：0225-25-5602
(10:00～18:00 定休日：金曜・祝日)
E-mail：ishinomaki@pbv.or.jp
URL：http://pbv.or.jp/ishinomaki-psen/

1/24 第3回復興支援シンポジウム ～広がれ、つながれ学校の森～

人間は、自然の恵みで生きている。でも、そんなこと忘れていても毎日は過ぎていく。それって、大丈夫？「学校の森」は子どもたちの感性を養い、学び、考えて行動するというステップで生きる力を育みます。実践する先生や教育委員会の発表、討議の場として分科会も開催します。一般社団法人地球の楽

縦覧中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

■宮城県

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>

NPO法人の設立を新しく申請した団体			
		宮城県等所轄分11月11日～12月10日 仙台市所轄分11月11日～12月10日	
団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県等 わたリグリーンベルトプロジェクト	亘理町	亘理町沿岸部の緑化を通じた地域産業振興事業	12/2
スパッと鳴子温泉自然エネルギー	大崎市	大崎市鳴子温泉地域の自然エネルギーを活用した発電事業等を通じた地域活動の活性化	12/9

NPO法人に認証された団体			
		宮城県等所轄分11月11日～12月10日 仙台市所轄分11月11日～12月10日	
団体名	所在地	活動内容	認証日
宮城県等 生涯学習実践塾(※)	名取市	生涯学習等に関する事業を通じ、文化の振興による地域活性化を図る活動	10/23
仙台市 アートワークショップ すんぷちよ	宮城野区	高齢者、障害者、子育て中の親子を含むすべての人を対象とした文化・芸術活動支援事業 高齢者、障害者、子育て中の親子を含むすべての人とのアートを介した交流・相互理解促進事業 すべての人がアートに触れる権利を守るための学習事業 等	11/11

宮城県のNPO法人数

781団体

宮城県等所轄:367団体
仙台市所轄:414団体
※2014年12月10日現在

※生涯学習実践塾の認証情報は前月号に掲載するはずでしたが、編集ミスにより掲載できなかったため再度掲載させていただきます。ご関係者の皆さま、大変申し訳ございませんでした。

- 日 時：★仙台会場1月17日(土)14:00～16:30
場所：東日本建物仙台駅前ビル2階
★石巻会場2月8日(日)14:00～16:30
場所：カリタスジャパン石巻ベース
- 対 象：大切な方を亡くされた方(死因は問いません)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：不要 ※託児をご希望の方は要事前問合せ
- 主 催：NPO法人仙台グリーンケア研究会
- 連 絡 先：TEL：070-5548-2186
E-mail：griefoffice@gmail.com

1/17 ～これからを生きるあなたへ～ 20才からの自分みがき

.....

仙台市では、25才で自立した社会人になることを目指し、「自分づくり教育」に取り組んでいます。これからの社会を担う皆さんを応援しつつ、地域社会の受け皿の一つとして、私たちは「20才からの自分みがき」事業を始めることにしました。様々な分野でがんばっているステキな方々をお招きし、バラエティーに富んだお話を聴きましょう。

- 日 時：①1月17日(土)18:30～20:00
②2月8日(日)9:00～13:00
- 場 所：①エル・ソーラ仙台 研修室
(仙台市青葉区中央1-3-1アエル28階)
②日立システムズホール仙台 交流ホール
(仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5)
- 内 容：①『震災後の子どもを取り巻く環境』
講師：内藤 恵子氏(元仙台市立七北田小学校校長)
②『実践：(杜の子まつり)イベントスタッフを体験する』
- 対 象：20才以上の方
- 定 員：20名(先着順、定員になり次第締切)
- 参 加 費：各回500円
- 申込方法：下記連絡先までTEL、FAX、E-mailで随時受付
- 主 催：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-375-3548
E-mail：morinokodomo@s8.dion.ne.jp

1/18 第3回国連防災世界会議in仙台 「市民協働と防災テーマ館」プレ企画 ハジマルフクラムプロジェクト 「ゲームでひらく、防災の扉」

.....

市民の防災・減災への関心を高め、だれでも参加出来る学習ツール「防災ゲーム」の開発や普及活動が全国的に活発化しています。ハジマルフクラムプロジェクトでは、「防災ゲーム」をテーマに、実際にゲームを体験しながら、市民の目線による防災のアイデアをモクモクとふくらませるトークイベントを開催します。

- 日 時：1月18日(日)13:30～15:30
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター
地下1階市民活動シアター
- ゲ ス ト：わしん倶楽部
- 定 員：15名
- 参 加 費：500円
- 申込方法：下記連絡先に問い合わせ
- 主 催：防災からまちづくりを考える実行委員会
- 連 絡 先：仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
TEL：022-212-3010 FAX：022-268-4042
E-mail：sendai@sapo-sen.jp

1/19 メディアテークdeちびぱーく

.....

はいはい・よちよちの子ども自身が楽しみ、そして子育て中の親がのんびりとしながらおしゃべりをしたり、同じ年の親子と出会ったりできる場づくりをしたいと、西公園プレーパークの会と仙台メディアテークが協力！いつでも、誰でも、遊べる「ひろば」です。親子で気軽に遊びにきてね。

- 日 時：1月19日(月)11:00～15:00
1月20日(火)10:00～15:00
- 会 場：せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア
(仙台市青葉区春日町2-1)
- 対 象：0～6歳の子どもとご家族
- 参 加 費：無料
- 申込方法：不要
- 主 催：西公園プレーパークの会
- 連 絡 先：TEL：090-7562-6154
URL：http://homepage1.nifty.com/KUROBE/

1/21 知っておこう！ NPOのための法人税講座

1/29 見直してみよう！ NPO法人のための定款変更講座

.....

NPOの運営をサポートする講座を2つ開催します。NPOやボランティア活動だからといって、無縁ではない法人税。その仕組みから申告までをわかりやすくお伝えします。そして組織運営に合わせた定款の見直しのポイントについて定款変更講座で解説します。

【NPOのための法人税講座】

- 日 時：1月21日(水)13:30～16:30
- 講 師：笹舘 公男氏(税理士)
- 内 容：★法人税の概要
★法人税の課税対象となる収益事業の定義
★質疑応答 など
- 対 象：NPO・市民活動団体の代表者、スタッフ、会計担当など
- 参 加 費：1,000円(税込)

【NPOのための定款変更講座】

- 日 時：1月29日(木)14:00～16:00
- 講 師：大久保 朝江氏
(NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)
- 内 容：★定款変更の手続きについて
★組織運営に合わせた定款の見直しポイントについて
★NPO法改正に伴う定款変更箇所について
- 対 象：NPO法人の代表、役員、スタッフなど
- 参 加 費：800円(税込)
- 持 ち 物：各団体の定款

【共通事項】

- 場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 定 員：20名(申込先着順)
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先：みやぎNPOプラザ(連絡先は、P8をご覧ください)

- 日 時：1月12日(月・祝)13:30～
- 場 所：仙台市シルバーセンター 第2研修室
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 内 容：・基調報告「『障害』という表記や言い方について
の背景と歴史について」
下郡山 徹一氏(社会福祉法人つどいの家 理事)
・ディスカッション
- 定 員：100名
- 参加費：無料
- 情報保障：要約筆記、手話通訳あり
(点字資料が必要な方は事前にご連絡ください)
- 申込方法：事前申込不要。直接会場へお越しください。
- 主 催：誰もが暮らしやすいまちづくりをすすめる仙台
連絡協議会(略称：条例の会)
- 連絡先：TEL：022-248-6054 FAX：022-738-9501
E-mail：jyoureisendai@gmail.com

1/16 市民の出番！ ～見守りから支え合いへ～

介護の支え手不足が叫ばれる中、厚生労働省が介護保険を改正し、新たな施策を提案しました。自らが介護予防に努め(自助)、市民が相互に支え合う(互助)という支え合いの推進です。多様な事例を学び、主体的な市民参画を考えましょう。

- 日 時：1月16日(金)13:30～15:30
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 6階
セミナーホール(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 内 容：・基調講演「多様な市民が多様な福祉サービスを
提供するために動きだした全国の事例について」
講師：田中 尚輝氏(認定NPO法人市民福祉
団体全国協議会 専務理事)
・会場との意見交換
- 定 員：90名(先着順)
- 申込方法：下記連絡先までFAXまたはTELで、氏名、連絡
先(住所、TEL)をお伝えください。
1月6日(火)～受付開始
- 連絡先：「NPO福祉ねっと宮城」事務局
(NPO法人グループゆう 内)
TEL：022-376-7679 FAX：022-348-2151

1/17 第2回東北メディアラボ公開研究会 「地域とメディアを考えるシリーズ」 メディアと市民参加

東日本大震災をきっかけとして、既存のメディアのみならず、市民やアーティストらによる情報発信や地域活性化の動きも多く見られます。地域でがんばっている人たちがたくさんいます。私たちは、このような地域の活動を応援しながら、一

緒に東北地域のメディア実践をつなぎ、情報を開いていきたいと考えています。

- 日 時：1月17日(土)13:30～16:30(懇親会 17:30～)
- 場 所：東北大学 片平キャンパス 片平北門会館2階「エスパス」
(仙台市青葉区片平 2-1-1)
- 定 員：60名
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先E-mailまで、参加者名をお知らせく
ださい。(事前申込要)
- 主 催：東北メディアラボ
- 連絡先：事務局
E-mail：medialab@media.is.tohoku.ac.jp

1/17 「ひゃくねんモンスター」 ダンスワークショップ オドリノタネ

オドリノタネは誰でも持っています。子どもから大人まで、いつもなにげなく行っている動きにも、子ども達の遊びの中にも。面白いと思ったらとりあえずみんなで真似っこしてみよう。あれ、みんなでやるとダンスに見えてくる。不思議。この瞬間を一緒に体験しませんか？

- 日 時：各日10:00～12:00 すべて土曜日
①1月17日 ②1月24日 ③1月31日
- 場 所：①宮城野区中央市民センター 和室1
②宮城野区中央市民センター 第1会議室
③せんだい演劇工房10BOX box-6
※開催場所の変更有。上部日程表をご参照ください。
- 対 象：だれでも参加OK！老若男女参加するから楽しい！面白い！
子育て中の親子、障がい者、学生など様々な人の交流
の場になっています。1歳児から50代まで幅広い年
齢層！座ったままでも、腕が上がらなくても、大丈夫！
- 服 装：動きやすい恰好で、飲み物、タオルなどをご持参ください。
- 参加費：一般500円、すんぷちよ会員300円、障がい者
100円、80歳以上80円、高校生以下無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mailで申込み。
- 主 催：NPO法人アートワークショップすんぷちよ
- 連絡先：担当：及川
TEL：090-1933-9823
E-mail：info@sun-pucho.com
URL：http://www.sun-pucho.com/

1/17 大切な人を亡くした方のわかちあいの会

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ち等を、静かに語り合います。日常生活で語れなかったことを、ご遺族同士でわかちあっていただく安心な場所です。

ありがとうございます！！

今月の新入会員・継続会員 (2014.12.16現在)敬称略

●正会員 50名

●賛助会員 78名

<石巻市> ●NPO法人パソコンママネット
<利府町> ●伊藤くにな
<仙台市> ●齋藤ツメ ●NPO法人ほっぷの森 深野せつ子
●フラワーセラピー研究会
フラワーセラピーショップキャロプラン仙台

会 員 募 集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	ー□ 3,000円
賛助会員NPO	ー□ 5,000円
賛助会員企業・団体	ー□ 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる

会員申込の方は、通信欄に会員の
種類をご記入ください。

information

12月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

目の不自由な方への情報提供ボランティア募集

.....
せんだいメディアテークでは、目の不自由な方のご希望にあわせて、資料を提供しています。点訳、音訳、拡大、音声読み上げ対応など、そのかたちはさまざまです。今回はパソコン点訳と音訳ボランティアを募集します。

(1)パソコン点訳ボランティア

- 活動内容：・リクエスト点訳…目の不自由な方から要望があった文章の点訳
・サピエ図書館へのデータ登録
・情報誌点訳
- 対象：パソコンをお持ちで、点訳活動の経験のある方

(2)音訳ボランティア

- 活動内容：・対面朗読…来館した目の不自由な方に、希望の資料を対面して読む
・リクエスト音訳…目の不自由な方がお持ちの資料をDAISYまたはテープ等に音訳、録音、DAISY編集を行う
・情報誌音訳…せんだいメディアテークが主催のイベント案内や録音図書等をお知らせする情報誌を音訳、録音、DAISY編集を行う
※DAISY編集経験の有無は問いません。初心者の方には研修会を開催。情報誌担当の方は研修会への参加要(未経験者のみ)
- 対象：音訳・朗読活動経験のある方

【共通事項】

- 申込方法：住所、氏名、年齢、連絡先、これまでの経験等を明記し、FAXまたはメールにて下記連絡先までお申込みください
- 連絡先：せんだいメディアテーク
点訳・音訳ボランティア担当
TEL：022-713-4484 FAX：022-713-4485
E-mail：office@smt.city.sendai.jp

お知らせ

アマニ・ヤ・アフリカ マゴソスクール火災募金について

.....
12月にわたしが支援するケニアのキベラスラムのマゴソスクール付近で起きた火災によって、マゴソスクールも図書室やPCルームが焼け落ちるなど大きな被害を受けました。まだまだ復旧には時間もお金も必要です。いただいた募金は、責任を持ってマゴソスクールに届けさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

- 振込先：ゆうちょ銀行
記号：18100 番号：8129561
名義：特定非営利活動法人アマニ・ヤ・アフリカ
※他金融機関からお振込みいただく場合は、以下の内容でお振込みください。
店名：ハ一八(読み：ハチイチハチ)
店番：818
預金項目：普通預金 口座番号：0812956
- 連絡先：NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ
〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-10-34-205
TEL/FAX：022-797-7556
E-mail：info@amani-ya.com
URL：http://amani-ya.com/

イベント

1/10 あなたの心に寄りそう 傾聴サロン

.....
誰かとゆっくり話がしたい、悩みを聞いてほしい、自分のことをわかってほしい等、あなたの不安や悩み、誰にも言えない心の内を話しに来ませんか。被災された方、一般の方、どなたでもお気軽にご参加ください。(守秘義務遵守…プライバシーは守ります)

- 日時：各回10:00～15:00
★仙台会場1月10日(土)
場所：仙台市福祉プラザ
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
★名取会場1月18日(日)
場所：名取市市民活動支援センター
(名取市大手町5-6-1)
★岩沼会場1月21日(水)
場所：岩沼市総合福祉センターあいプラザ
(岩沼市里の杜3-4-15)
※電話での傾聴も実施しています
080-3199-4481
(毎週火・木・土曜日)9:00～17:00
- 申込方法：下記連絡先へ連絡
- 主催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連絡先：FAX：022-343-9705
携帯：090-6253-5640
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
URL：http://blog.canpan.info/morimori/

1/12 条例の会仙台・ありのまま舎 共同企画 第2回差別のない社会を考えるトークカフェ 『“障害”の表記についてどう思いますか?』

.....
『障害』の表記や言い方についての背景や歴史を学び、表記や言い方についての考えを明確に表明している、障害当事者・親の立場・支援者・団体の方々にパネラーとして登壇していただき、それぞれの思いや考えを話していただきます。



宮城県震災復興担い手NPO等支援事業

●協働推進フォーラム●

～地方共助社会づくり懇談会in宮城～

日時 平成27年 1月28日〔水〕13:00～17:00

会場 TKPガーデンシティ仙台勾当台 ホール1

(宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル2F)

東日本大震災からの復興に係る課題及び医療・福祉、教育、子育て、まちづくり、環境等の分野における地域の諸課題に対し、従来のように行政、企業、NPO等が個々に対応していくだけでは限界があります。

そこで今回、地域における協働を推進し、地域の諸課題の解決に向けた取組を促進するため、宮城県震災復興担い手NPO等支援事業「協働推進フォーラム～地方共助社会づくり懇談会 in 宮城～」を開催することになりました。よりよい社会を見据え、ともにこれからの地域社会を支える担い手となるために必要なことは何かを、一緒に考えていきましょう。

「共助社会づくり懇談会」とは

地域の活性化を図るとともに、全ての人が能力を社会で発揮できるよう下支えを進める共助社会をつくるため、政策課題の分析と支援策の検討を行う場として、内閣府経済財政政策担当大臣の下、有識者による「共助社会づくり懇談会」を平成25年4月より開催しています。

プログラム

13:00 開会あいさつ

13:05 基調講演

「協働による市民社会の可能性を探る」

深尾 昌峰 氏(公益財団法人京都地域創造基金 理事長)

14:05 ——休憩(10分)——

14:15 パネルディスカッション

「多様な主体の連携による共助社会を目指して」

【パネリスト】

池田 昌弘 氏

(特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長)

小岩 孝子 氏

(特定非営利活動法人 FOR YOU にこにこの家理事長)

鏡 啓記 氏

(特定非営利活動法人あきた地域資源ネットワーク専務理事)

横田 能洋 氏

(特定非営利活動法人茨城 NPO センター・コモンズ常務理事・事務局長)

【コーディネーター】

大久保朝江 氏

(特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる代表理事)

15:35 ——休憩(20分)——

15:55 NPO等と行政による交流会

16:55 閉会あいさつ

定員 100名

参加費 無料

対象 市町村のNPO住民協働等担当職員、NPO法人、市民活動団体、企業、その他共助社会に興味がある個人

申込締切 平成27年1月22日(木)

申込先 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる

申込方法 参加希望の方は、所属、氏名、住所、連絡先、交流したい自治体(NPO法人、市民活動団体、企業の方のみ)をご記入のうえ、杜の伝言板ゆるるまでハガキ、Eメールでお申込み頂くか、インターネット申込サイト <http://goo.gl/936zz0> からお申込みください。

※スマートフォンの方は、こちらのバーコードをご利用ください→



■主催：内閣府、宮城県 ■受託・実施：特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる